

## 胃切除後障害で困っている患者さんへ

### 『胃切除後障害対応施設』のご案内

胃を切除すると胃の働きが弱まることでさまざまな症状が出たり、食事量や体重が減り体力が低下するために日常生活に支障をきたすことがあります。

胃外科・術後障害研究会は、そのような胃切除後の身体の不調を減らすための活動に取り組んでいます。

患者さんがご自身の身体の状態に合わせて食事や生活をマネジメントできるように、小冊子「胃を切った方の快適な食事と生活のために」をはじめとした患者さんを支援するツールをホームページから提供しています。

それでも身体の不調が続き日常生活に困りを感じている患者さんに対応するための診療窓口として『胃切除後障害対応施設』を設けました（表1）。

受診を希望される患者さんは、表に書かれた連絡先に「胃外科・術後障害研究会のホームページを見た」ことを伝えて受診日を調整してください。

尚、以下の点にご留意ください。

- (1) 診療対象は胃切除を受けた患者さんです。
- (2) 診療は原則的に保険診療で行います。
- (3) 医師からの診療情報提供書（=紹介状）がない場合には、別途選定療養費がかかることがあります。  
（※ 病院により金額が異なるため、受診する病院に事前にご確認ください）
- (4) 身体の不調が胃切除以外の原因による場合には、別の診療科の受診をお勧めすることがあります。